

公共事業等施行状況調（令和3年7月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (7月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		3年度 C	C/A	2年度 D	D/B	
		3年度	2年度	3年度 A	2年度 B					
1	治山・治水	24,949	25,398	15,541	16,889	7,201	46.3	6,775	40.1	
2	農林・水産	30,983	32,114	22,974	24,258	7,493	32.6	7,969	32.9	
3	道 路	51,830	55,349	30,712	33,731	18,894	61.5	17,732	52.6	
4	港湾・空港	6,973	6,928	3,319	3,525	1,652	49.8	1,722	48.9	
5	下水道・公園	9,525	8,556	2,468	2,554	478	19.4	687	26.9	
6	住 宅	1,805	2,090	1,309	1,485	918	70.1	1,171	78.9	
7	庁 舎	3,623	1,300	3,356	1,151	1,299	38.7	184	16.0	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	20,029	9,654	16,331	7,301	3,230	19.8	2,938	40.2	
11	工業用水・上水道等	1,034	1,042	102	89	17	16.7	33	37.1	
12	災害復旧	211	57	203	0	108	53.2	0	0.0	
13	その他	8,966	10,343	6,507	7,069	3,169	48.7	1,104	15.6	
	計	159,928	152,831	102,823	98,053	44,458	43.2	40,313	41.1	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和3年7月末）

（単位：社、件、百万円、％）

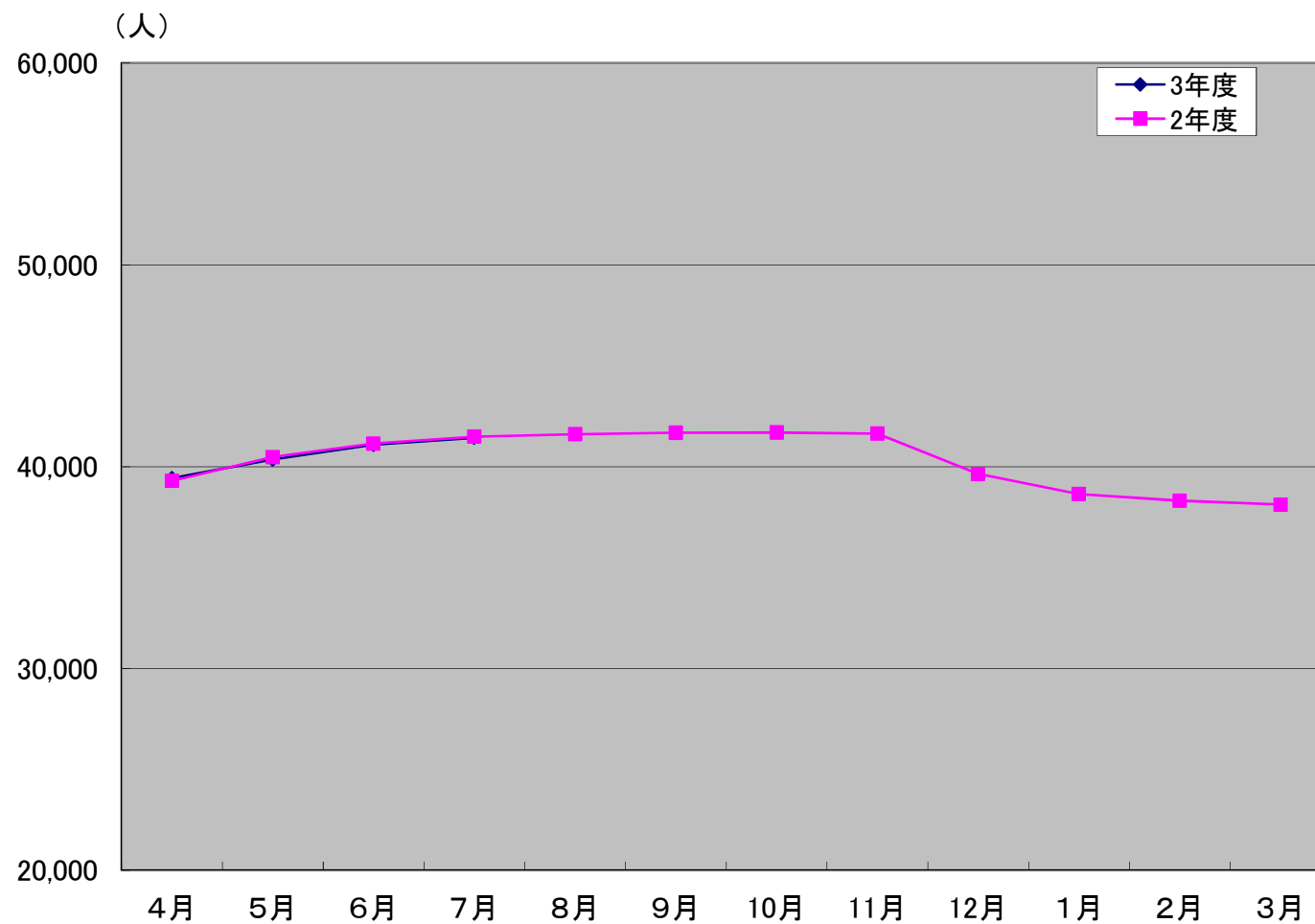
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
3年度	159,928	102,823	11,986	1,177	44,458	11,721	1,118	37,419	201	43	2,761	64	16	4,278
					B/A 発注率 43.2	C/B 97.8	95.0	84.2	D/B 1.7	3.7	6.2	E/B 0.5	1.4	9.6
前年度比	104.6	104.9	100.5	106.0	110.3	100.5	105.4	108.9	111.7	138.7	151.7	75.3	88.9	103.8
2年度	152,831	98,053	11,930	1,110	40,313	11,665	1,061	34,370	180	31	1,820	85	18	4,123
					B/A 41.1	C/B 97.8	95.6	85.3	D/B 1.5	2.8	4.5	E/B 0.7	1.6	10.2

被保険者数

	3年度	2年度
4月	39,424	39,303
5月	40,359	40,467
6月	41,085	41,148
7月	41,421	41,492
8月		41,611
9月		41,687
10月		41,689
11月		41,636
12月		39,646
1月		38,642
2月		38,307
3月		38,119

前月末被保険者数	41,085
資格取得者数	775
資格喪失者数	446
転入者数	11
転出者数	4
今月末被保険者数	41,421

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)7月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年7月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩	均	逼	緩	均	逼	緩	均	逼	緩	均	逼	上	安	下	上	安	下		上	安	下	上	安	下
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の5月の販売量は3万3千トン(セメント協会調べ)で前年同月比25.7%の増。メーカー各社は値上げの姿勢を崩さず、交渉の糸口を探している。主たる需要家の生コンメーカーは、骨材などの調達コストが増加し、経営を圧迫しているとして、値上げに抵抗している。交渉はこ着しており、先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○		道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや減少している。一部のメーカーは、鉄などの原材料、運搬コストの増加を理由に値上げを打ち出している。しかしながら、工事量の減少で厳しい状況下におかれている需要家の反発が強く値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の6月の出荷量は6万5千m3(生コン工組調べ)で前年同月比16.8%増。一部の地域では風力発電および、使用済燃料再処理工場向け、大学病院新設工事の出荷が好調である。しかし、その他地区の一般物件の需要は例年並みもしくは例年の出荷量を下回っている。こうしたなか、一部のメーカーは製造・輸送コストの増加を理由に値上げを打ち出しているものの、需要家の反発が強く値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○		一部地区においては、生コンの出荷が好調であり、コンクリート用碎石の出荷が昨年度を上回っている。しかし、その他地区の生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。こうした状況下、工事量の伸び悩みを受けた一部需要家からの値引き要求があるものの、メーカー各社は、燃料価格の上伸を受け輸送コストが増加していることを理由に要求には応じていない。先行き、横ばいの公算が大きい。
小棒		○			○			○			○			○			○			○			○		SD295・D16でトン当たり88,000円と前月比変わらず。物件は少なく、小口当用買いの商状が続く。電炉メーカーでは、原料である鉄スクラップ高を背景に収益の確保が困難になっており、値上げの浸透に注力している。今後もメーカー、流通筋ともに採算確保のため、値上げ未達分の早期浸透を目指し、強い販売姿勢を維持する構え。先行き、強含みの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○		6月の県内出荷量は6万トン(合材協会調べ)で前年同期比9.5%の増。メーカー各社は、原材料であるスタアスの値上がり分や高止まりとなっている輸送コストを、販売価格に転嫁したい意向。工事量増は今後も期待薄と見込む需要家は、採算を確保するため、値上げに対して反発を強めている。双方の綱引きは、しばらく続くとの見方が強く、先行き、横ばいの公算大。
木材			○			○			○			○			○			○			○			○	管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり93,000円と前月比15,000円の急伸。3カ月連続の値上がりとなった。5月の県内新設住宅着工戸数は456戸で前年同月比5.8%の減少(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比25.2%の増加だったが、それに次ぐ貸家は同46.2%の減少となっている。米国や中国の経済急回復に起因する世界的なウッドショックが沈静化せず、国内需要の概ね6割を占める輸入材の入荷が低調なまま推移。代替材として国産の杉などに対する引き合いが急速に拡大しているが、原木供給が追いつかないことなどで市中在庫の減少が進んでおり、高値でも現物確保を優先する動きが広がっている。市場の需給が正常化するまでには時間を要しそうで、先行き、強含み。
油類		○			○			○			○			○			○			○			○		軽油はミニローリー渡りでリットル当たり111円、重油はローリー渡りで72円と共に前月比6円上伸した。米国を中心に各国で景気回復基調となったことや、イラン核合意の行方が見通せないことなどから、原油相場が上昇。これを受け元売り各社は仕切価格を引き上げ、流通筋も追従した。ワクチン接種の進展による世界経済の回復期待が高まるなか、主要産油国の減産幅縮小が合意に至らなかったことで、原油相場の先高観が広がっている。目先、強基調の見込み。
型枠合板			○			○			○			○			○			○			○			○	12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,470円と前月比50円の上伸。6カ月連続の値上がりとなった。5月の輸入合板入荷量は20万4千m3(財務省調べ)で前年同月比0.1%減。新型コロナウイルス禍が続くなか、現地のロックダウンが延長されるなど、国内入荷量は低調なまま推移。市中在庫の減少で需給タイト感が一段と強まる状況下、流通筋は仕入れ上昇分を販売価格に上乘せする姿勢を継続している。市場における品薄状況に収束の気配は見られず、目先、強含みの見通し。
形鋼		○			○			○			○			○			○			○			○		200×100でトン当たり99,000円と前月比5,000円の上伸。流通筋は仕入れ価格上昇による採算悪化の回避に向けて、値上げ交渉を継続している。需要面は低調のままで変化はない。しかし、メーカー各社が価格優先の販売姿勢を維持し、追加値上げも示唆したことで先高観が強まり、値上げ額の一部が浸透し、3カ月連続で上伸となった。度重なる値上げに対して、需要家は難色を示しているものの、メーカー、流通筋の強い売り腰が緩む気配はない。目先、強含みで推移する公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年7月)

区分	品名・規格	単位	青森		弘前		八戸		県平均		備考
			価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	111,000	0.0	111,000	0.0	111,000	0.0	111,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	88,000	0.0	88,000	0.0	88,000	0.0	88,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	91,000	13.8	91,000	13.8	91,000	13.8	91,000	13.8	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	93,000	19.2	93,000	19.2	93,000	19.2	93,000	19.2	
油類	軽油(ミニローリー渡し)	L	111.0	5.7	111.0	5.7	111.0	5.7	111.0	5.7	111,000円/kl
油類	重油(ローリー渡し)	L	72.0	9.1	72.0	9.1	72.0	9.1	72.0	9.1	72,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,470	3.5	1,470	3.5	1,470	3.5	1,470	3.5	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	99,000	5.3	99,000	5.3	99,000	5.3	99,000	5.3	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

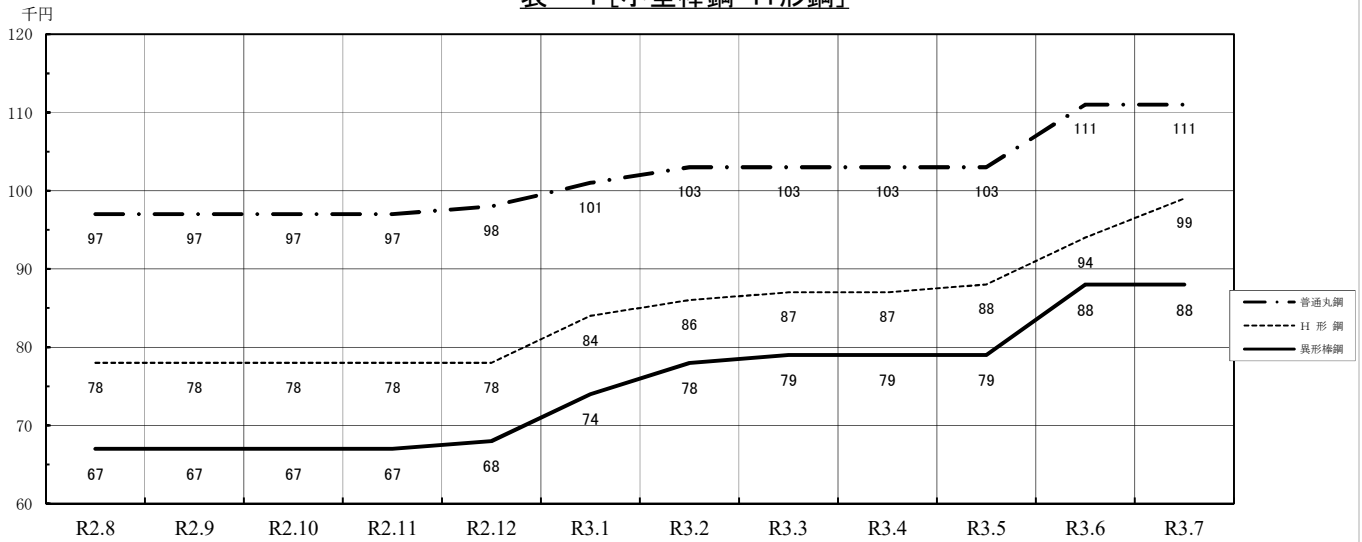


表-2 [セメント・生コン]

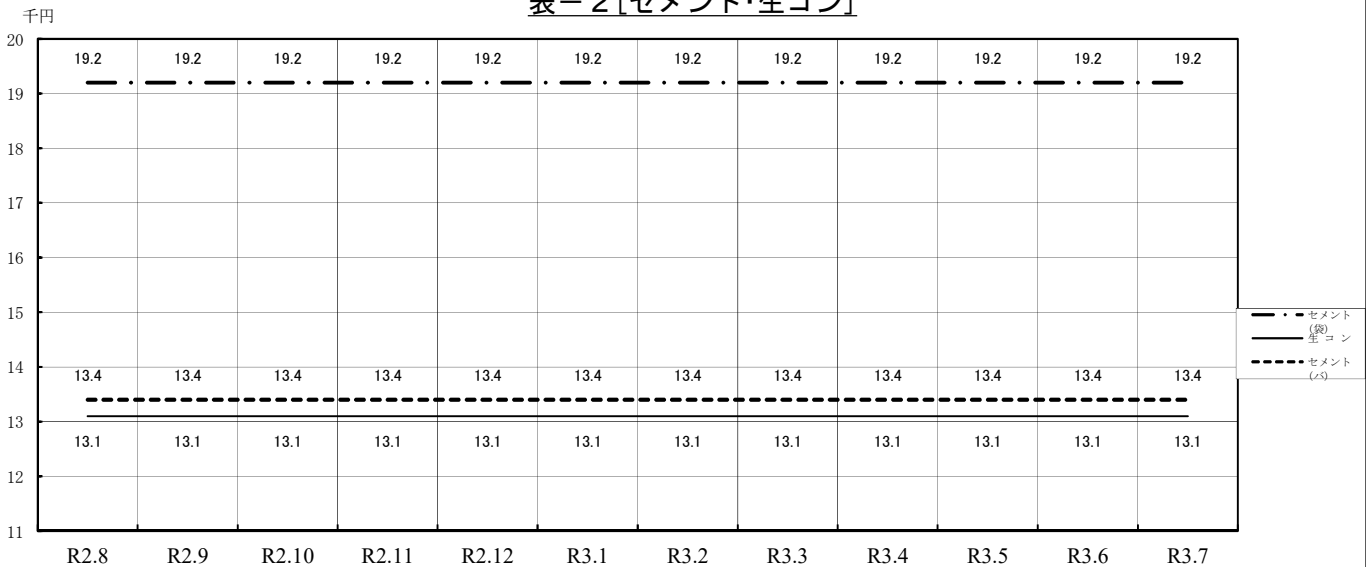
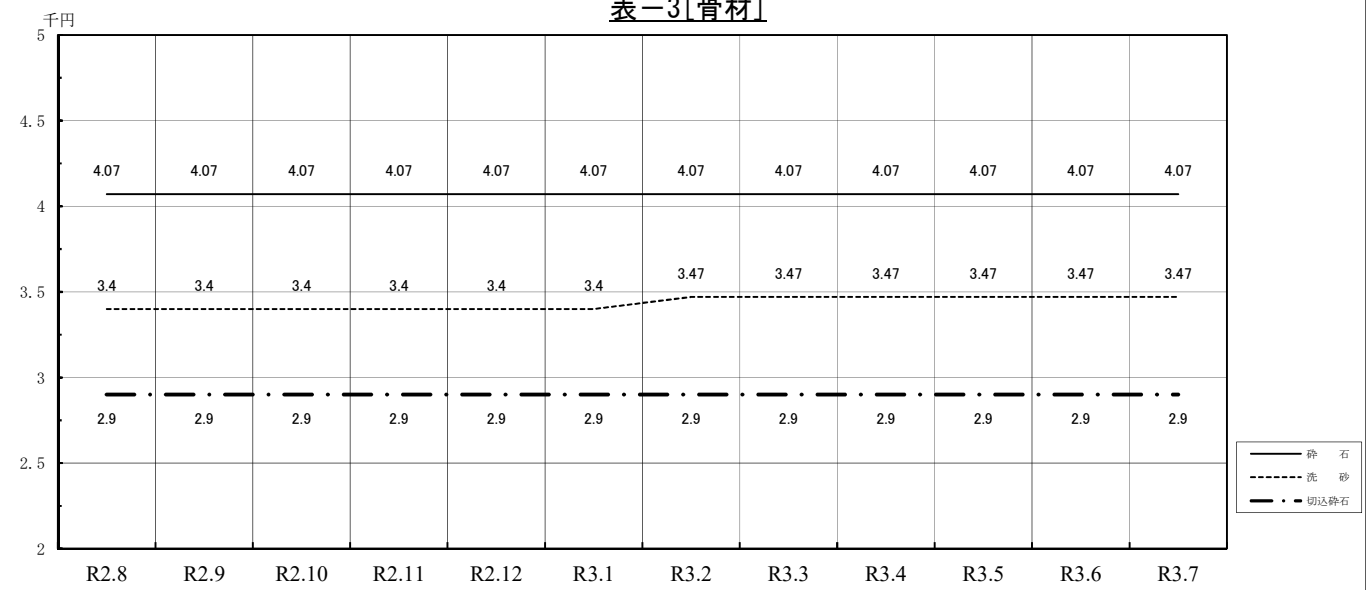


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

